

読書の秋！芸術の秋！食欲の秋！スポーツの秋

秋 到来！！

すっかり涼しく爽やかな気候になり、いよいよ読書の秋がやって来ました！裏面でも紹介していますが、現在図書館では「乙女の本棚＆文豪〇〇特集」「絵本を届ける運動」の展示をしています。

また、「防災の日」のミニ展示は今月で終了です。以前「世界一受けたい授業」で紹介された『自衛隊防災 BOOK』など、まだ見ていない人はぜひチェックしてください。そして、防災関連本の展示終了後は修学旅行関連本のミニ展示を予定しています。ぜひ図書館へ足を運んでください。

「絵本を届ける運動」ボランティア作業が無事終了しました。



9月6日(月)から17日(金)までの2週間、昼休みを利用し「絵本を届ける運動」翻訳シールの貼付作業が行われました。ユネスコSC係、農業クラブ、JRC部、図書委員総勢56名が作業に参加しました。作業内容は、翻訳シールをハサミで切り取り、絵本の日本語を覆うように慎重に貼り付けていきます

ユネスコSC係3T2田辺大翔さんは「集中して取り組みとても楽しかった」、小島啓嗣さんは「多くの子どもたちに読んで欲しい」JRC部1A1和南城夢羽さんは「全く違う言語で新鮮に感じた」との感想を寄せてくれました。



完成した絵本は、シャンティ国際ボランティア会を通し、ミャンマー難民キャンプやカンボジアなどに届けられます。 広報係 1A2入澤 心

実習でスタッキングボックスを製作！

本校の図書館は、みなさんが使いやすいようにさまざまに工夫を凝らした物を課題研究や実習で製作してもらっています。

今年度集団読書用のテキストが増え、収納に困っていたところ、環境技術科建築コースの3T2津久井陸翔さんと古橋悠斗さんが、実習でスタッキングボックスを製作してくれました！早速テキストを入れて活用しています。ありがとうございました！

収納されている集団読書用のテキストは、短くて読みやすい話ばかりなので、読書感想文用に利用する生徒もいます。みなさんもぜひ利用してください。



今年もやります！読書月間！！

10月25日(月)～11月22日(月)

10月27日～11月9日は「読書週間」です。図書委員会では、この読書週間の期間を拡大し、「読書月間」として、特別貸出や読書推進イベントを開催します。

期間中は、5冊までの特別貸出と毎年恒例のスタンプラリー、雑誌の古本市などのイベントを開催予定です。

詳しくは10月中旬発行予定の臨時増刊号で紹介します。みなさん、ぜひチェックしてくださいね！

文豪作品×神絵師の夢のコラボ!

乙女の本棚シリーズ

特設コーナー、大好評展示中!
乙女の本棚&文豪特集



pixiv などイラスト系 SNS で人気のイラストレーターさんたちが、文豪の名作とコラボした「乙女の本棚シリーズ」をご存じですか。

利根実図書館では、夏休み明けからこのシリーズのコーナー展示を始めました！Classroomでも案内していますので、すでに利用してくれている人も多いと思います。お目当ての本が展示コーナーにない場合は貸出中ですので予約してください！

Halloween



図書館が一足早くハロウィンモードになりました！そして、「絵本を届ける運動」の絵本展示は9月28日の昼休みまでです！まだ見ていない人は図書館にLet's Go!!

右恭先生の ひとり言



今春「甲子園」に行くために、命をかけている男たちの話をまとめた本が出版された。『隠れた高校野球王国・群馬 監督たちの甲子園』である。

現在、群馬県の高校において、野球部で監督をしている方々の思考や生き様に迫った一冊だ。

高校野球をしている人たちにとって「甲子園」は聖地である。この本では、その聖地に降り立った監督たちの華々しい経歴やストーリーが詳細に描かれている。しかし、その聖地に行く切符を勝ち取った監督たちですら、その道のりは険しく大変なものだったと語っている。

「当時の自分は経験不足で、指導の引き出しも少なかった」健大高崎・青柳博文監督
 「違ったアプローチが必要だと思った」太田・岡田友希監督
 「僕は野球エリートではなく、雑草」桐生第一・今泉壮介監督
 「自身の無力さを感じる」前橋東・小暮直哉監督
 「いまの指導を続けていっても甲子園に行くことはできない。」関学附・羽鳥達郎監督

先日、ミュージシャンである星野源さんがパーソナリティーを務めるラジオを聞いていたところ、このような話が流れてきた。「何も考えずに楽しいと思えることは、なかなか次に繋がらない。現状に対する不満や思い通りにいかない苦しみがたくさんあるから、それを乗り越えようとアイデアを考える。そして、そのアイデアをもって乗り越えたときに得られる楽しさが、芸術につながっていく」

もちろん高校野球における指導と、芸術として音楽を作り出す工程には、異なることが数多くある。しかし、考えの根本には「自身の現状に不満があるから、それを乗り越えるためのアイデアを生み出していく」ことが共通点としてあるのだと感じた。

私自身も高校野球の指導に携わる中で、思い通りにいかないなと感じたことは数え切れないほどある。おそらく、この拙文を読んでくださっているみなさんの中にも現状に不満をもち、悩みを抱えている人が多くいるだろう。その悩みも、もしかしたら自分自身の人生をよいものにしていくために必要な、ステップアップの材料なのかもしれない。

あなたの人生が、自分自身で形づくり表現していく芸術なのだとしたら、今ある不満や悩みを乗り越えるアイデアを考え出していくことが、素晴らしい芸術作品を生み出すことに繋がっていくのではないだろうか。

(1人で悩みを抱え考え込むと、良い方向に考えがまとまることはないと言われています。悩んだ際や考えがまとまらないときは、近くにいる大人・先生方に相談をしてよりよい道を探っていきましょう。)

国語科:米山 右恭